



2026年6月26日

各位

会社名 株式会社 aero lab international  
(コード番号 326A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役 鼓呂雲 健造  
問合せ先 取締役マネジメントコントロール長  
松本 章吾  
T E L 072 (990) 1232  
U R L <https://aerolab.jp>

### 東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場目的の開示

当社は、株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場にあたり、以下のとおり、TOKYO PRO Market 上場の目的並びに上場目的の実現に向けた追加情報をお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 当社グループの事業概要と今後の経営方針

当社グループは、ビジネス機を中心とした航空機販売事業を中核事業として、付随して航空機整備等のサービスを国内外で展開しております。

近年、企業活動のグローバル化や移動ニーズの多様化を背景として、ビジネス機は経営効率や機動性を高める移動手段として世界的に活用が進んでおります。また、国内においてもビジネス機の利活用拡大が期待される一方、安全性や品質に対する要求は一層高まっており、高品質なサービスを提供できる企業への期待が高まっております。

このような経営環境のもと、当社グループは国内外における販売・サービスネットワークの拡充、取扱製品・サービスの拡充を進めるとともに、航空機整備を中心とする航空専門の人材への投資及び組織基盤の強化を推進しております。さらに、ビジネス機市場における専門性と信頼性を強みとして事業領域の拡大を図り、中長期的には売上高 200 億円規模の企業グループを目指します。

## 2. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、企業としての社会的信用力及び知名度の向上を主な目的として、TOKYO PRO Market へ上場いたしました。上場企業としての透明性及び信頼性の向上を通じて、金融機関との取引関係の強化を図るとともに、当社の事業成長を支える優秀な人材の確保及び組織体制の強化につなげていきたいと考えております。

また、上場を契機として、コーポレート・ガバナンス及び内部管理体制の充実に図り、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

なお、現時点において一般市場への上場時期及び上場市場は未定であります。将来的なステップアップ上場も視野に入れながら、事業基盤の強化、収益力の向上及び経営体制の充実に取り組んでまいります。

## 3. 上場目的の実現状況

当社は、上記の上場目的の実現に向けて、企業価値向上及び事業基盤の強化に取り組んでおります。

### (1) 企業としての信用力向上

TOKYO PRO Market 上場後は、適切な情報開示及び内部管理体制の運用を継続しており、上場企業としての社会的信用力の向上に努めております。その結果、金融機関との取引においても円滑な関係構築が進み、事業拡大に必要な資金調達基盤の強化につながっております。

### (2) 人材確保及び組織体制の強化

当社の持続的な成長には、航空機整備を中心とする航空専門の人材確保及び育成が重要であると認識しております。上場企業としての認知度及び信頼性の向上を活かし、採用活動の強化及び組織体制の充実に取り組んでおります。今後も事業拡大に必要な人材の確保と育成を進めることで、競争力の向上を図ってまいります。

### (3) 将来的なステップアップ上場に向けて

当社は、TOKYO PRO Market を企業成長のための基盤として活用しながら、将来的な一般市場へのステップアップ上場も視野に入れております。現時点では具体的な上場時期及び上場市場は未定であります。今後、事業規模の拡大、収益力の向上、内部管理体制及びガバナンス体制の更なる強化を進め、適切な時期に検討してまいります。

以上